

平成 2 6 年度市長ミッション採択案件の進捗状況

区分	No.	提案内容	担当部局	平成27年度事業計画	平成28年度事業計画	中間報告の 実施時期	事業実施状況 (平成27年9月末まで)	今後の方向性
2月補正 (10件)	3	高値販売の輸出ルートの確保、輸出専門の農業生産法人の設立支援、県外からの輸出企業の受入れ支援	経済観光部 (農林水産部)	・企業商談の強化 ・販路開拓及びマーケティング調査の実施 ・JETROと連携した海外新規ルート開拓及びセミナー開催による生産者と輸出業者のマッチング	・企業商談の継続実施 ・販路開拓事業の効果検証を踏まえた取組みの見直し ・輸出関連PT会議の設置（現地視察による市場調査等の検討） ・海外展開支援補助	平成27年 11月	・市内農産物輸出業者からの聞き取り ・県、ジェトロからの輸出促進に関する事業の情報収集 ・サンヨー跡地に進出する源吉兆庵への農産物（原料）取引に係る協議の実施 ・関西情報発信拠点「とりのまんま」等と連携した農産物販路開拓事業の実施（グリーンマーケット等販促の実施）	・輸出に関するセミナー開催 ・セミナー参加者、県、ジェトロによる輸出に関するPT設立 ・市内に進出する大手企業（源吉兆庵、マルサンアイ等）との原料供給等の取り引き協議の実施 ・「とりのまんま」やグリーンマーケット事業を軸に、関西圏における市内農産物と外食産業等との商談会を企画
	4	在学・新卒学生起業支援	経済観光部	・起業希望者の掘り起し、事業承継マッチング ・クラウドファンディング普及促進・活用支援 ・新規創業・開業支援、地域商業担い手育成 ・ビジネスプランコンテスト開催	・起業希望者の掘り起し、事業承継マッチング ・クラウドファンディング普及促進・活用支援 ・新規創業・開業支援、地域商業担い手育成 ・ビジネスプランコンテスト開催	平成28年 11月	・起業推進員が鳥取大学、鳥取環境大学を訪問し、教官、学生らと情報交換。起業希望者の情報提供を依頼	・引き続き、事業を推進。特に、鳥取環境大学起業部の学生と連携し、在学生の創業実現に力を入れる。
	16	起業のまち「鳥取」創造プロジェクト					・5月から起業推進員を配置。起業希望者の掘り起し、サポートにあたるとともに、中小企業団体中央会と連携し、事業承継に係る実態調査を実施 ・鳥取銀行と連携し、7月から地域クラウドファンディングサイト「FAAVO（ファーブ）鳥取」を開設 ・定住&起業者向けパンフレットを作成し、定住相談会等で配布 ・新規創業開業支援事業補助金 6件採択見込 ・定住希望者向けビジネスプランコンテストの募集を開始	・引き続き事業を推進。特に、クラウドファンディングサイト「FAAVO（ファーブ）鳥取」の活用促進に力を入れる。
	5	株式会社運営保育園の誘致	健康・子育て推進局	・株式会社保育園参入企業調査の実施 ・地域型保育事業の検討結果に基づく施設改修費補助		平成29年 4月	・平成27年4月に2事業者が参入。 小規模保育事業 コモド第一保育園 事業所内保育事業 まなびや園	・引き続き新規事業者の参入を推進していく。 27年11月に1事業者が参入予定 28年4月に1事業者が参入予定
	6	鳥取－神戸間直行バス運行事業（通勤通学者の送迎、単身赴任者の週末帰省に利用）	企画推進部	・地方版総合戦略の策定に関し実施する、政策提案等施策実現可能性調査の中で検証	・前年度の調査結果に基づき事業化を検討 ・実現可能性モデルの検証及び関係機関との連携	平成27年 11月	・鳥取－神戸間だけを捉えるのではなく、本市と他地域の「2地域居住」の可能性を探るため調査中。	・調査結果を踏まえて事業化を検討する。
	7	海上自衛隊分遣隊の鳥取港への誘致	防災調整監	・防災訓練等でのエアクッション艇上陸訓練誘致に向けて関係機関との調整 ・分遣隊誘致に向けての市民コンセンサスの醸成（調査、研修等の実施） ・防災フェア（市民交流事業の開催）	・防災訓練等でのエアクッション艇上陸訓練誘致に向けて関係機関との調整 ・分遣隊誘致に向けての市民コンセンサスの醸成（調査、研修等の実施）	平成27年 11月	・県要望の提出（防災訓練等でのエアクッション艇上陸訓練の実施） ・新潟分遣隊視察研修 ・7/12防災フェア2015開催（鳥取港）、アンケートの実施	・海上自衛隊の訓練誘致に取り組む中で、海上自衛隊分遣隊の誘致の可能性について調査、研究を行っていく。 併せて、市民交流の場をとらえ、市民意識の把握に努める。
	14	サービス付高齢者住宅新設事業	福祉保健部	・都市部高齢者のニーズ、マーケティング調査、先進地視察の実施 ・県、事業者等との意見交換及び調査研究	・都市部へのセールス開始 ・サービス付き高齢者向け住宅運営事業者の募集・決定 ・介護・医療職の雇用マッチングサイト開設	平成28年 11月	・総合戦略策定に向けた調査の中で、サービス付き高齢者住宅へのイメージや移住を検討する際の参考となるかどうかの調査、分析を委託している。	・調査、分析結果を受けて、CCRC構想のプロジェクトチームで事業化について検討する。
	15	留学生受入れ支援	経済観光部	・留学生向け就職説明会、地元企業向け説明会、交流会の実施 ・事業本格実施に向け調査・検討（①市内大学留学生担当部署との協議会の設置②留学生からの関わり③就労支援事業の検討）	・平成27年度の調査、検討結果を踏まえた事業の実施	平成27年 11月 ↓ 平成28年 11月	・未着手	・市内企業及び留学生（大学学生支援担当部署）等からの事業ニーズを把握し、開催内容を検討する。
	19	新築借上げ賃貸住宅の整備（公民連携による住宅の供給）	都市整備部	・基礎データの収集 ・分析、事例収集 ・制度設計（素案）の作成	・制度設計（素案）内部検討 ・外部評価 ・パブリックコメント実施	平成28年 11月	・市営住宅長寿化計画の見直しにおいて、今後の住宅政策に対する考え方を整理することとしており、業務受託業者と『借上げ賃貸住宅』に対するニーズ把握及び市場調査の手法について打ち合わせ済。 ・他自治体の事例収集	・『借上げ賃貸住宅』の可能性及び効果の検証
	20	既存ストック借上げ賃貸住宅の整備						
当初 (5件)	2	市外転出女性と市内在住男性の集団お見合いの定期開催	企画推進部	・すごい！鳥取市婚活サポートセンターでのイベント、フォローアップ企画の実施 ・関西事務所等と連携した帰郷意思のある市外在住者の把握、イベント告知・内容等ノウハウの蓄積	・婚活サポートセンターでのイベント、フォローアップ企画の実施 ・関西事務所等と連携した帰郷意思のある市外在住者の参加者拡大、イベント告知・内容等のグレードアップ	平成28年 11月	・県外在住女性とのお見合いについては、鳥取青年会議所が主催する「海山コン」と連携して取り組み、7組のカップルが成立した。	・今後も、民間団体等とサポートセンターが連携を図りながら、効果的な事業を実施していく。
	8	すごい！鳥取市婚活サポートセンターでの結婚まで切れ目のないサポート					・すごい！鳥取市婚活サポートセンターの8月末時点の登録会員数は816人(男性382人 女性435人)となり、現在まで27回の婚活イベントを実施し、56組のカップルが成立した。	・このまま会員数が増えすぎると、逆に会員がイベントに参加できなくなる恐れがある。現在の会員数を維持しながら、更に魅力ある効果的なイベントを企画していく。

当初（5件）	9	オシャレなオリジナル婚姻届と結婚証明書の交付	総務調整監	・オリジナル婚姻届と結婚記念証の交付 ・市民課窓口での記念撮影サービス ・出生数増加に繋がる取り組みの再検討	・サービスの継続実施 ・検討結果に基づく出生に関する取り組みの実施	平成28年11月	・H26.12.15よりオリジナル婚姻届の配布開始（窓口、HPでのDL）および、婚姻届提出者に結婚記念証とそれを飾るフレームをセットで交付。H27年度結婚記念証の質感アップ実施。	・オリジナル封筒のネーミングライツの導入について検討する。
	10	市民課窓口での記念撮影サービスとドレス貸出					・H26.12.15より婚姻届提出者に対して市民課窓口で記念撮影サービスの開始。 ・記念撮影用バックパネル、お祝いボード、椅子等のグレードアップを実施。	・窓口記念撮影プリントアウトサービスの実施。 ・記念撮影用のスゴうさぎぬいぐるみの製作の検討。
	21	大学生の地区公民館職員（アルバイト、職員）に配置	企画推進部	・学生受入れについて各地区公民館と調整 ・学生インターンシップの受入れ実施 ・各地区公民館と学生アルバイト職員の検討 ・各大学と調整	・学生インターンシップの継続実施 ・学生インターンシップの実施状況分析 ・検討結果に基づきアルバイト職員を任用 ・各大学と調整	平成28年11月	・インターンシップとして、公民館（湖山西地区）において、大学生3名受け入れ済	・今後も継続実施予定。

区分	No.	提案内容	担当部局	平成27年度事業計画	平成28年度事業計画	中間報告の実施時期	検討状況	今後の方向性
今後必要に応じて補正対応（7件）	1	S N S 鳥取 P R 大使任命（主に転出学生を対象）	総務調整監 (企画推進部)				・No.13の登録者をベースにすることとしているため、広報室の進捗待ち。	・広報室と協調しながら事業化を進めていく。
	11	オリジナル出生証明書の発行と出産記念品のグレードアップ	総務調整監				・オリジナル出生届を配布する自治体が現れており、本市においても既出の婚姻届に続き出生届についても出生証明書と併せて実現化について検討した。	・婚姻届から出生届けへ窓口サービスの流れを継続させるため、オリジナル出生証明書及び出生届の作成に取り組む。 ・記念品のグレードアップは効果が弱いと考えられるが、ささやかな市の応援の気持ちが市民のシビックプライドを醸成させる施策を検討していく必要がある。
	12	中学校の制服をオシャレに	教育委員会事務局				・ミッション内容の若手デザイナーや企業誘致につながるような事業としての実施は、技術面やコスト面で実現が難しいと考えている。	・制服は長期にわたり受け継がれていくものであり、保護者が購入するものであるため、負担が増えないことを前提として、今後、学校再編などで制服を変更する機会をとらえて、郷土や母校への愛着が持てるような制服選定の仕組みを提案していきたいと考えている。
	13	鳥取市学生・社会人サポート制度の導入（登録者への情報発信）	企画推進部				・県外の学生に対する本市の就職情報の発信について、経済・雇用戦略課と協議中。 【概要】 現在、県が運営している登録フォームや、保護者への就職関連情報の提供、市の求人サイトなど複数のチャンネルがあり、新たなチャンネルを作っても、利用者が混乱するのではないかという懸念がある。 既存のチャンネルを有効活用して、県外の学生に本市の就職情報や誘致企業の紹介などを、より効果的に行っていく手法を考えるべきではないか。	・本市では、10代・20代の進学、就職による市外転出が顕著であり、UJIターンの中でも、特にUターンの取り組みについて強化する必要がある。 今後は、市内の求職情報だけでなく、誘致企業の情報や移住・定住支援策などの情報を一体的に発信し、情報を必要としている県外在住者に確実に届くような仕組みについて検討する。
	17	安心・安全プラスワン（認定農業者（農業法人）等の育成、6次産業化総合支援など）	農林水産部				・安心・安全プラスワンの取り組みを進めるためには、6次産業化や農商工連携の取り組みが必要となるが、従来の支援の枠の中で「高機能野菜を使った野菜ジュース」や「血糖値を下げる効果がある桑の葉茶」の開発等に向け、農家や加工業者等と検討を進めている。 また、機能性分析など研究機関等との産官学の連携については、あまりに高額な研究費用が掛かるなどの課題も発生しており、費用対効果の面からも、より効果的な事業展開を検討している。	・6次産業化や農商工連携の取り組み支援については引き続き強力に進めていく。 また、当初は市内の生産者や食品加工業者等と連携し、農産物に新たな価値を付加し、特色ある販売流通ルートを確立させることを計画していたが、効果的な品目に特化する等、ベースとなるプランの見直しも視野に、農産物のブランド化や産地化を進める取り組みや、付加価値の高い農産物加工品の開発及び外に打って出る販路開拓事業などと共に一体的に進めていく。
	18	安心・安全プラスワン推進専門チームの設置					・平成26年度末に専門チームを設置したが、安心・安全プラスワンの取り組みの範囲（事業規模）があまりに広範囲であるため、少し「的」を絞った取り組みへの変更を検討している。そのため、チーム員一堂に会した検討会の開催は行っていない。	・必要に応じて開催する。
	22	女子大生の市職員への登用（『鳥取教えてあげ隊』）の開催、学生モニター実施など）	企画推進部				・今年度の設立準備については現計予算で対応予定。	・28年度に女性視点を重視した若者政策推進組織（仮称）を設立予定（H28当初予算に必要経費を計上）